

21年目の葉山

村山市立葉山中学校
学校だより
第16号
令和6年12月11日

二十四節気と冬至かぼちゃ

校長 富塚 義幸

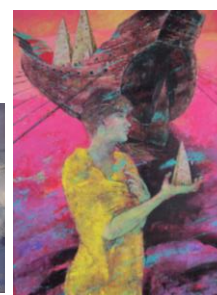
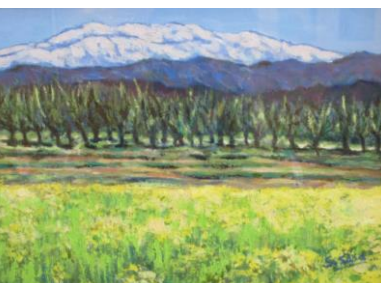
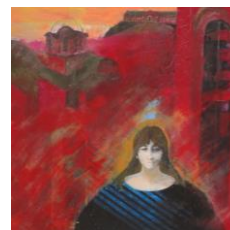
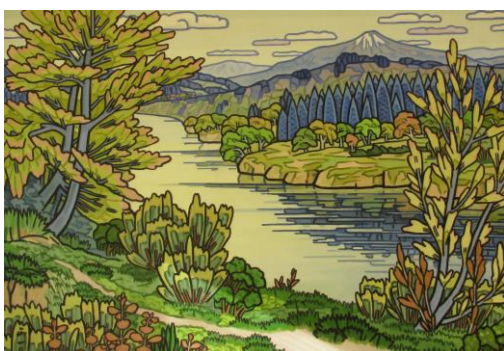
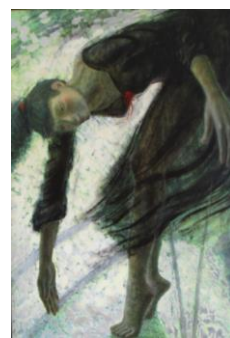
12月7日(土)朝、目が覚めて外を見ると今年初めて雪が積もっていました。その日のテレビやラジオでは、「今日は二十四節気(にじゅうしせっき)の“大雪(たいせつ)”、暦の通り本格的な雪が降っています」といったアナウンスが何度も流れました。今年最後の12月のカレンダーで調べてみると、確かに“大雪”と書いてありました(“おおゆき”ではありません)。二十四節気は、一年間の春夏秋冬をさらに六つに分けて季節の変化を表したもので、日本の旧暦で用いられてきました。太陽が地球を一周する日数を二十四等分して決められています。以下、まとめてみました。

季節	二十四節気 ※()は読み方と令和6年の月日、ただし小寒・大寒は令和7年
春	立春(りっしゅん 2月4日) 雨水(うすい 2月19日)
	啓蟄(けいちつ 3月5日) 春分(しゅんぶん 3月20日)
	清明(せいめい 4月4日) 穀雨(こくう 4月19日)
夏	立夏(りっか 5月5日) 小満(しょうまん 5月20日)
	芒種(ぼうしゅ 6月5日) 夏至(げし 6月21日)
	小暑(しょうしょ 7月6日) 大暑(たいしょ 7月22日)
秋	立秋(りっしゅう 8月7日) 処暑(しよしょ 8月22日)
	白露(はくろ 9月7日) 秋分(しゅうぶん 9月22日)
	寒露(かんろ 10月8日) 霜降(そうこう 10月23日)
冬	立冬(りっとう 11月7日) 小雪(しょうせつ 11月22日)
	大雪(たいせつ 12月7日) 冬至(とうじ 12月21日)
	小寒(しょうかん 1月5日) 大寒(だいかん 1月20日)

“大雪(たいせつ)”は、いよいよ雪が降り積もり、“冬至(とうじ)”の前日の12月20日まで大雪の期間であることを示しています。“冬至”は、一年の中で一番昼が短く、夜が長くなる日です。また、“冬至”はその後徐々に日が長くなっていくことから、運氣の上昇を願う節目と考えられていました。そういえば、“冬至”には、「冬至かぼちゃ」を食べたり、「ゆず湯」に入ったりする習わしがあります。昔は、冬の寒い時期の野菜が少なく、保存がきくかぼちゃはビタミンが豊富で大切な栄養源でした。そこで、無病息災を願い、厳しい冬を乗り切るために食されるようになりました。多くの家庭でそうかもしれませんが、私の母が作る「冬至かぼちゃ」には小豆が入っています。小豆の赤い色は邪気を祓うと信じられていたようで、かぼちゃと一緒に食べることでもっと願いが叶う(W効果がある)ような気がします。日本には、かぼちゃ煮だけを食べる地域や小豆がゆだけを食べる地域があります。そう考えると、甘い「冬至かぼちゃ」でご飯を食べるのが苦手で、肉や魚、塩気のあるものを欲していましたが、『家族の健康・家族の幸せ』を願い用意してくれていたことに、改めて感謝です。今まで以上に、味わって食べたいです。12月19日(木)の給食は「冬至献立」です。お楽しみに!

特集：葉山中学校『美術館』=学校にある作品を紹介します！=

今年度、『入学式』や『創立20周年記念式典』などの行事だけでなく、学校視察や研修会などで多くの方が来校されました。生徒の皆さんの生活ぶりや充実した施設をほめられると嬉しい気持ちになります。校舎内にある見ごたえのある（寄贈）作品に驚かれる方も多かったです。生徒・保護者・地域の皆様にその魅力を届けます。※紙面の都合上、額を含めて紹介できないことをお許しください。



※本来ならば作品名・お名前をご紹介すべきところですが今回は割愛します。紹介していない作品もあるのではと心配になりました。申し訳ございません。